

I. 北海道の地域特性と課題

1. 地勢・気候、社会資本の状況

面積、人口、市町村数

面積	83,424 km ²	(R4.10時点)
人口	5,184 千人	(R4.1時点)
市町村	179	(R4.11時点)
1政令市、34市、129町、15村		

※北方領土の面積を含む

【出典：国土地理院 全国都道府県市区町村別面積調、総務省統計局】

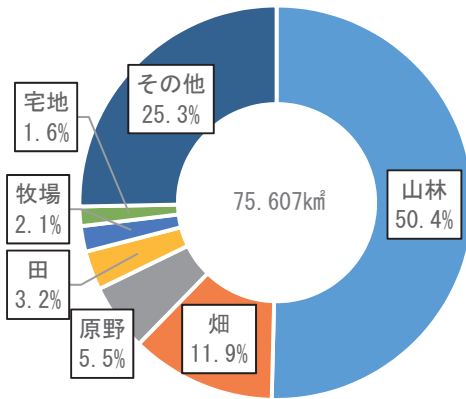
主な社会資本の管理延長（国、市町村管理含む）

高規格幹線道路	1,825 km	(R4.3時点)
一般国道	6,774.1 km	(R2.3時点)
道道	11,895.5 km	(R2.3時点)
市町村道	71,217.8 km	(R2.3時点)
一級河川	10,182.4 km	(R2.4時点)
二級河川	4,287.5 km	(R2.4時点)
海岸線	3,098 km	(H31.3時点)

主な都市の人口・気温・降水・降雪量

	年平均	月平均		降水量 年合計(mm)	降雪の深さ 年合計(cm)
	平均気温 (°C)	月最高気温 (°C)	月最低気温 (°C)		
全国平均	16.2	33.8	2.5	1,852.0	
札幌市	10.0	28.1	-5.3	905.0	427
旭川市	7.9	28.1	-11.7	974.0	402
函館市	10.2	27.4	-4.4	1,119.5	182
帯広市	8.1	28.3	-10.9	716.0	185
釧路市	7.5	23.6	-8.9	856.0	120

【出典：気象庁（令和2年気象データ）、統計でみる都道府県のすがた2022】



土地利用状況

【出典：北海道総合政策部（2020）「令和2年度分の固定資産の価格等の概要調書」】



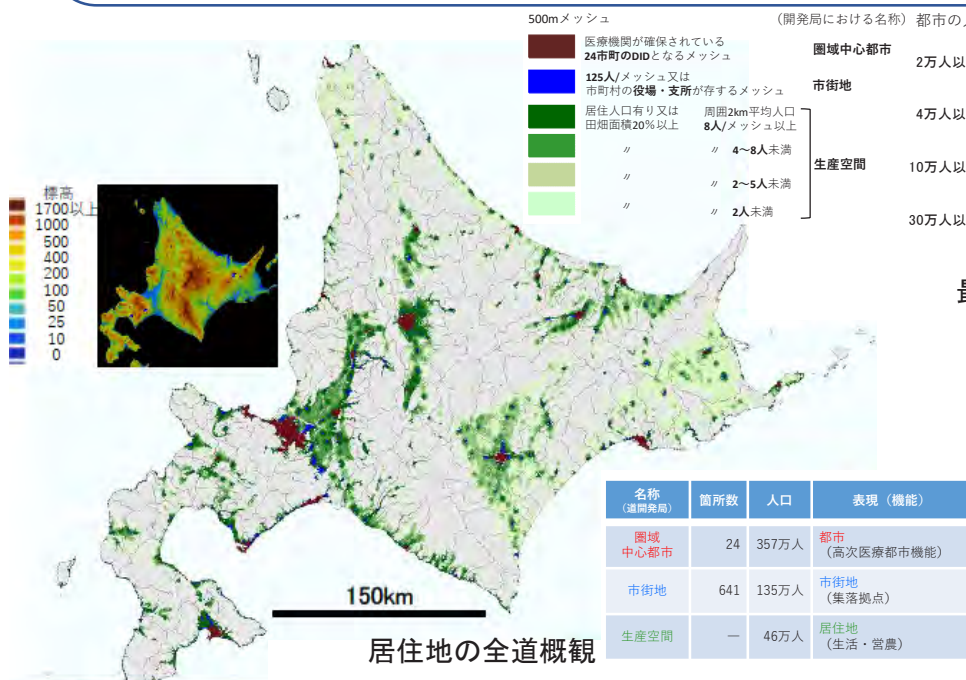
主な都市と交通ネットワーク

【出典：北海道総合政策部HP】

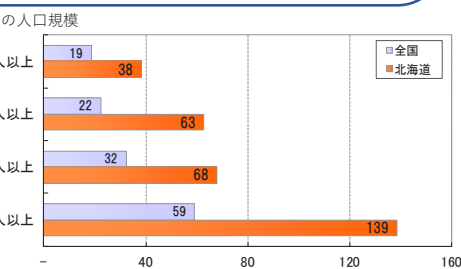
※ 根室線の一部区間はバス代行輸送中

2. 広域分散型の地域構造

北海道は全国の22%を占める広大な大地に都市が点在する広域分散型の地域構造を有しており、都市間距離は全国平均の約2～3倍で北海道の人口の約9割が圏域中心都市や市街地に居住しています。また、農水産物に関する北海道の全国シェアは耕地面積26%、農業産出額14%、漁業生産量29%を占め、国内の食料の安定供給に大きく貢献しています。北海道の強みである食や自然環境等を提供する地方部の生産空間と、生活サービスを担う地方部の市街地、高次のサービスを担う圏域中心都市とが重層的に機能分担し、相互に支え合う北海道型地域構造となっています。



【出典：北海道立総合研究機構 道総研まちづくり塾2021】



最寄都市までの平均道路距離

【出典：NITAS (総合交通分析システム) Ver.2.6 (2020年3月)】

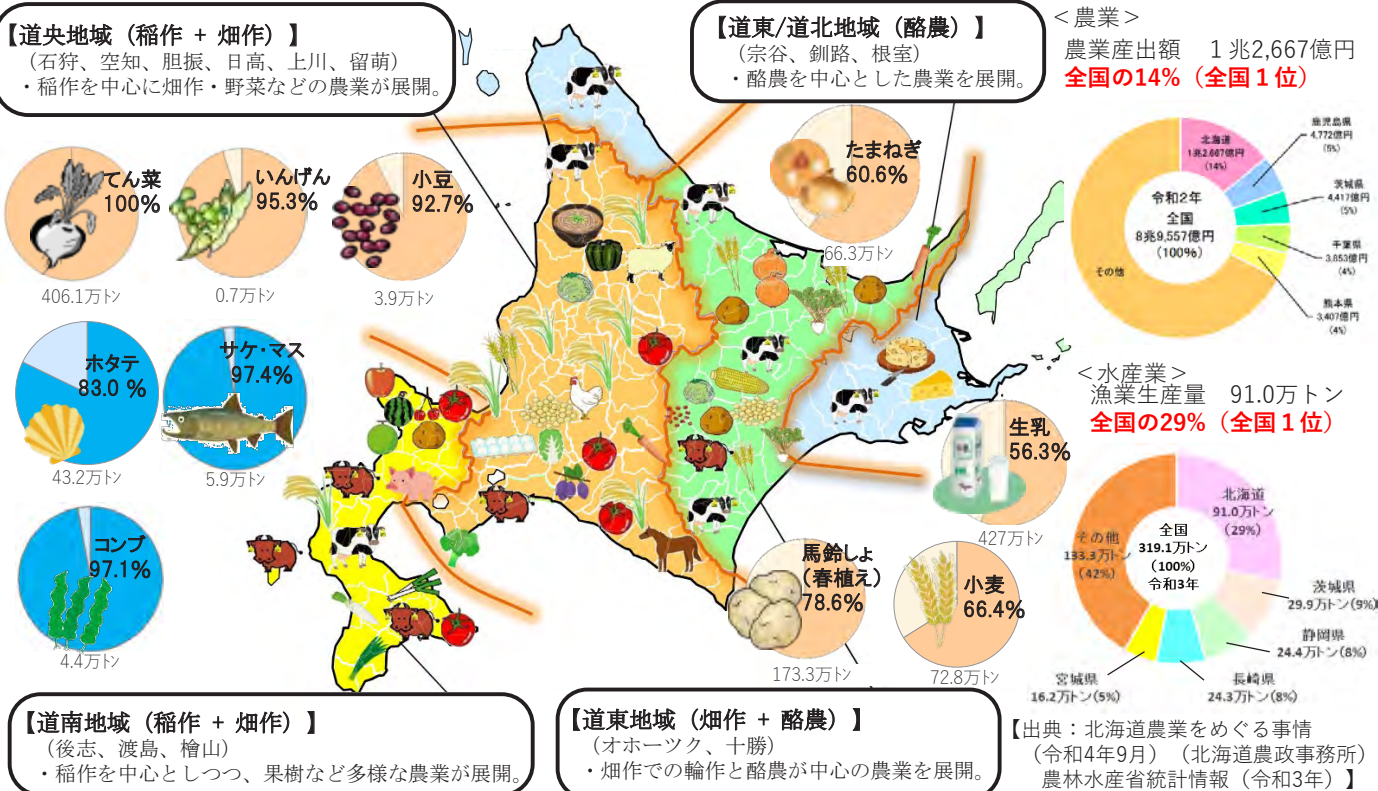
生産空間 (農林水産や観光等を担う地域)



北海道型地域構造

【出典：国土交通省】

北海道における主要な農水産物と全国シェア



【出典：北海道農業をめぐる事情 (令和4年9月) (北海道農政事務所) 農林水産省統計情報 (令和3年)】